



厚真町

概要

厚真町は、南北に長い地形で市街地が2つ存在するほか郊外に集落が点在する構造であるが、町内を起点・終点としている路線バスは1路線しかないため、循環福祉バスにより町内を3地区に分けて週1～3日、各3便の運行を行っている。しかし、地域によってはバス停まで2km離れているところや郊外に交通空白地域が見られ、特に高齢者等の交通の確保・外出支援が課題となっている。このため、スクールバスや循環福祉バスの有効活用、デマンド型交通の導入、路線バスを含めた利便性の向上と地域活性化を促進する公共交通のあり方について、総合的に調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR日高本線(浜厚真駅)
- ・あつまバス(株)(9路線)
- ・道南バス(株)(町内経由3路線)
- ・循環福祉バス(10路線)
- ・スクールバス(7路線)

地域公共交通の課題

- ・町内路線バスの利用低迷
- ・交通不便・交通空白地域の利便性確保
- ・高齢者等、交通弱者の生活交通の確保・外出支援

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・スクールバス、循環福祉バスの有効活用(間合い利用、一般住民の混乗)
- ・デマンド型交通の導入
- ・路線バスを含めた町内交通体系の再構築



国土地理院発行20万分の1地勢図より

厚真町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

協議会開催状況

7回開催

分科会等開催状況

7回開催(専門部会)

回数は平成21年度未までの開催予定

主な調査の実施内容

現況交通実態調査

・各種統計資料による人口、世帯、高齢化率等の調査(H21.7月)及び循環福祉バス10路線全便のOD調査(H21.10.29・30)を実施。

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

・町内全世帯(約2,000世帯)を対象に、地域公共交通への住民ニーズや潜在需要の把握を目的としたアンケート調査を実施。(H21.8.28～9.11)

その他の調査等

・より便利なバスサービスを検討するため、町内主要施設利用実態調査を実施。(H21.10月)

・学識経験者を講師に迎え、地域公共交通に関する講演会を開催。(H21.4.24 参加21名)

予定している連携計画の内容

乗合タクシーの導入(実施主体:厚真町、あつまバス(株)、実施時期:検討中)

・公共交通空白地域、不便地域の解消を目的とした乗合タクシーの導入に向け、H22を目途にモデル地区を設定し実証運行の実施を検討。

循環福祉バスの有効活用(実施主体:厚真町、あつまバス(株)、実施時期:検討中)

・効率的なバス運行の実現に向け、H22を目途に現行の循環福祉バスをデマンド方式へ転換する実証運行の実施を検討。

・循環福祉バスの有効活用を図るため、一般住民の利用が可能なコミュニティバスへの変更をH23の実施を目途に検討。

スクールバスの有効活用(実施主体:厚真町、あつまバス(株)、厚真町PTA連合会、実施時期:H23実施を目途に検討)

・スクールバスの有効活用を図るため間合い利用や一般混乗化を実施。

利用促進に向けた取組の実施(実施主体:厚真町、厚真町商工会、厚真町PTA連合会、実施時期:H23 実施を目途に検討)

・小学生を対象とした交通教育、ニュースレターの発行、シンポジウム・講演会の開催。

自己評価のポイント

乗降調査、アンケート調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において専門部会も開催しながら合意形成を図っている。

二次評価の方向

次に掲げる点についてアドバイスする。

- ・公共交通空白地域、不便地域の解消に当たっては、施策の対象地域、解消手法、スケジュール等を更に具体的に検討すること。
- ・循環福祉バスのコミュニティバス化に当たっては、既存のバス交通体系等との整合等に留意の上、検討すること。